

「6月1日の国際宇宙ステーション」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

6月1日(月)の夜8時過ぎに、日本列島を縦断するように、国際宇宙ステーション(ISS)が通過する。ISSは機体自体が発光するわけではないので、太陽の光を浴びていない時は見えない。では昼間は見えるかという、それでは空が明るくて、やはり見えない。地上は夜で、しかも上空には太陽光が残っている時間帯しか見ることができないのだ。

6月1日(月)の日本上空の飛行は、沖縄から東北地方まで、ほぼ全国で高い高度で見える、非常に条件のいい通過である。東京では、20時12分ごろに南西の空に低く見え始める。20時14分ごろから、急に光度と速度

をあげて燦然と輝きだし、20:15~20:16にかけて、ほぼ天頂を通過する。観測者とISSの直線距離は、最短で400km程度になるので、恐らく金星よりも明るい光の点が移動するのが見えるだろう。その後、北東の空にゆっくり去ってゆくだろう。

今日の5年生の授業で、このISSの通過の話をした。子どもたちは、「国際宇宙ステーションが肉眼で見えるの?」「写真は撮れますか?」「公園でも見えますか?」と、ずいぶんと興味を持ってくれた。月曜日は曇りの予報だが、天頂付近に少しでも晴れ間があれば必ず見える。皆様にも是非観望していただきたい。



6月1日(月)の夜に東京の真上を国際宇宙ステーション(ISS)が通過します。

夜8時15分ごろ、東京の真上を通過するよ。

金星ぐらいの明るさ。けっこう速く動いて見えます。

「6月1日のISS通過のプリント」

児童に配布して説明に使った。